

ERES公開セミナー2014

都市のコンパクト化と公的不動産の活用 ～人口・都市機能の集約化に向けて～

【日時】2014年6月30日(月) 15:00-17:00 (開場14:30)

【会場】東京大学本郷キャンパス
伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール(定員300名)

【主催】東京大学公共政策大学院

開催趣旨

人口減少と少子高齢化の進展という人口構造の転換期を迎え、我が国の地方都市では拡散した市街地での急激な人口減少が、一方大都市では高齢者の急増が、それぞれ見込まれています。加えて財政状況の悪化や公共インフラの老朽化が進む中で、都市経営を持続可能なものとするために、都市構造のリノベーションが求められています。

そのために、住宅や医療・福祉、商業など都市の諸機能の再配置を誘導するとともに、それらを公共交通を通じてネットワーク化するという、いわゆる「コンパクトシティ」の概念が注目を集めています。

そこで本セミナーでは、公共交通ネットワークを活用したコンパクトなまちづくりの先進事例として知られる富山県富山市の取り組みをご紹介いただくとともに、こうしたコンパクトなまちづくりへの取り組みを支援する国土交通省の政策として、都市再生法の改正とPRE(公的不動産)有効活用ガイドラインについてのご説明をいただき、都市構造のリノベーションに向けた具体的方策や課題について考えます。

※本セミナーは、寄付講座「不動産証券化の明日を拓く(三井不動産)」の研究・交流活動の一環として行われます。

プログラム

【司会進行】 特任教授 辻田昌弘

15:00-16:00 講演Ⅰ

『公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり』
京田憲明氏(富山市 都市整備部長)

16:00-17:00 講演Ⅱ

『まちづくりと公的不動産～改正都市再生法とPRE有効活用ガイドライン』
宮沢正知氏(国土交通省 都市局 都市計画課 課長補佐)

【公開セミナーのお申込み】

▼ 下記URLの申込みフォームよりお申込みください
<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/ERES/>

～寄付講座「不動産証券化の明日を拓く（三井不動産）」のご紹介～

- 三井不動産株式会社は、平成21年4月から東京大学公共政策大学院に寄付講座「不動産証券化の明日を拓く（Envisioning Real Estate Securitization：ERES）」を開設しています。
- 不動産証券化は、機関投資家・個人を含む国内外の幅広い層の投資対象として不動産を巡る新たな資金循環を引き起こし、都市・地域の整備・再生を強く促すことを通じて、日本経済の活性化に貢献してまいりました。
- また不動産証券化は、グローバル化と新たな金融システムの下で、国民財産である不動産の健全な市場構築を牽引し、内需主導型経済の確立により持続的な経済成長を促す重要な手法であると共に、公民連携の効果的利用による都市地域政策や住宅政策の展開に非常に重要な役割を担う手法です。
- 特に、国・地方自治体が、社会・経済構造が大きく転換する中、財政規律を保持しつつ、少子高齢化や低炭素社会に対応した都市構造を維持・更新していくためには、PFI、コンセッション等公民連携に基づく広義の不動産証券化手法が、従来以上にその有用性を増していくことが見込まれます。
- 本講座は、こうした将来の政策課題に対応し、産学官が連携し、有効に政策展開するのに必要な研究を実証的に行うと共に、それに必要な人材を広く国内外から求め、育成していくことを目的とするものです。
- また、本講座の研究成果は、シンポジウムやセミナーの開催等を通じて社会に還元し、不動産証券化に関する正しい知識の普及と教育に貢献すると共に、海外を含み、不動産証券化に関連した産学官の幅広い交流の基点となることを期待しています。

会場案内図

